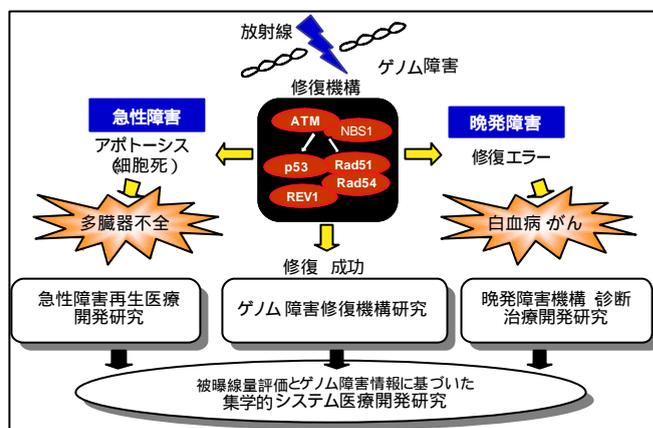


【分野名：医学系】

大 学 名	広島大学
拠点のプログラム名称	放射線災害医療開発の先端的研究教育拠点
中核となる専攻等名	原爆放射線医科学研究所
拠点リーダー氏名	神谷 研二

《拠点形成の概要》

急性放射線障害治療法の確立は、原子力の平和利用を推進する全ての国で必要不可欠な重要課題となっている。また、原爆被爆者や世界に拡大する被爆者のほか、医療や職業などの放射線被曝による健康問題は、世界的規模で解決すべき課題である。一方、ゲノム科学や再生医学の飛躍的な進歩により



新しい治療法開発の可能性が生まれている。しかし、放射線障害・治療に関する研究教育体制は、世界的にも弱体化しており、放射線災害に対する総合的な医療開発を行う国際的な研究・教育拠点の確立が求められている。

本拠点では、原爆医療で蓄積した世界一の研究資産の上に、ゲノム障害研究の科学的エビデンスに基づいた21世紀の放射線災害総合医療開発の世界拠点の確立を目指す。そのため、放射線ゲノム障害・修復研究を推進しゲノム障害診断法の開発や新しい急性被曝治療法として再生医学的治療法の開発を行う。慢性障害では、ゲノム科学的方法による白血病や癌の解析を進め、キズを持った遺伝子を追跡するモニター法や癌などの新治療法と予防法を開発する。最終的には、ゲノム障害情報による被曝線量やリスクの評価法から全ての放射線災害に対応できる集学的システム医療の開発を行いたいと考えている。この拠点形成は、學術の進歩のみでなく被曝者の医療を始め、がん等のゲノム障害に起因する全ての疾患の予防や治療法の進歩に貢献する。同時に、医療開発の実践を通して、次世代の研究者・医師を育成する。